

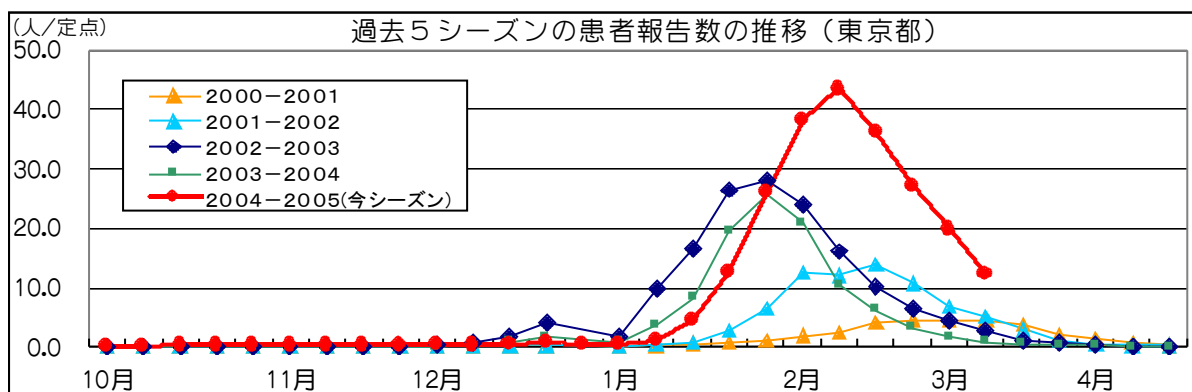
東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

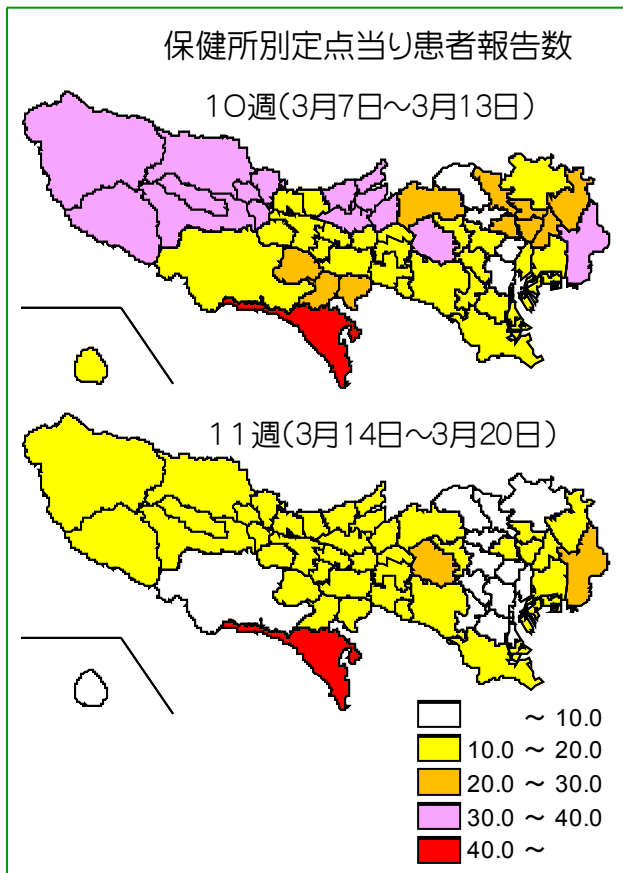
今号(第18号)のトピックス

- ・第11週(3/14~3/20)のインフルエンザ患者報告数は2,212人、定点当たり12.43人(去年同期 138人、定点当たり0.78人)
- ・定点当たり20人以上の地域: 町田市(41.3)、江戸川区(24.8)、杉並区(22.9)
- ・全国でも患者報告数がさらに減少
- ・第11週の東京都の流行規模は、全国で最下位(47位)

流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。



1 患者発生状況

インフルエンザ定点*からの第11週(3/14~3/20)の患者報告数は東京都で2,212人、定点当たり12.43人(去年同期 138人、定点当たり0.78人)と、ピーク時の約1/4まで減少しました。全国でも患者報告数が143,993人、定点当たり30.64人とさらに減少しました。

都内で定点当たりの患者報告数が20人を超えているのは、町田市(41.3)、江戸川区(24.8)、杉並区(22.9)の3地域です。

東京都では、インフルエンザ流行のピークは過ぎましたが、まだ油断はできません。うがいや手洗いの励行などの予防対策が必要です。

*: インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では178ヶ所(全国約5,000ヶ所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数*	陽性数	インフルエンザウイルス		
			Aソ連	A香港	B
6週 (2/07-2/13) まで	467	255	3	79	173
7週 (2/14-2/20)	97	74	2	15	57
8週 (2/21-2/27)	109	80	0	12	68
9週 (2/28-3/06)	105	51	0	11	40
10週 (3/07-3/13)	73	32	0	11	21
11週 (3/14-3/20)	73	41	0	34	7
12週 (3/21-3/27)	44	6	0	1	5

*:上気道炎、下気道炎などの診断名で送付された検体を含む - :検査中

2 東京都の検査情報

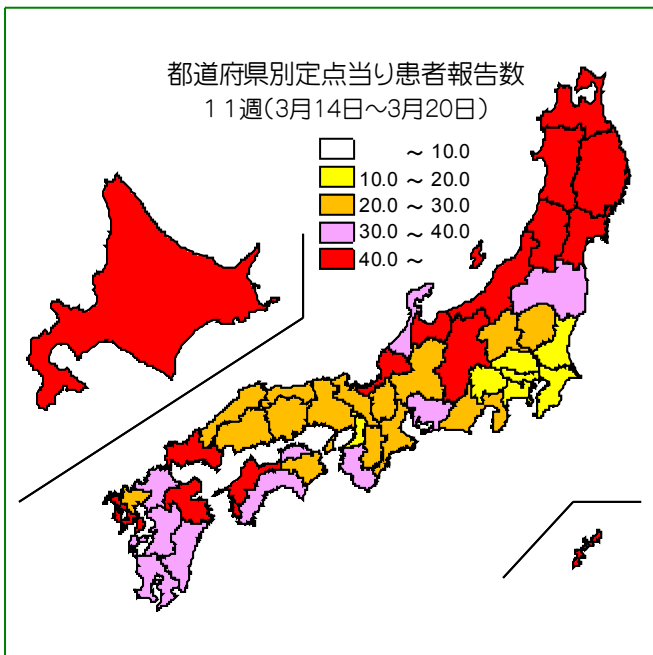
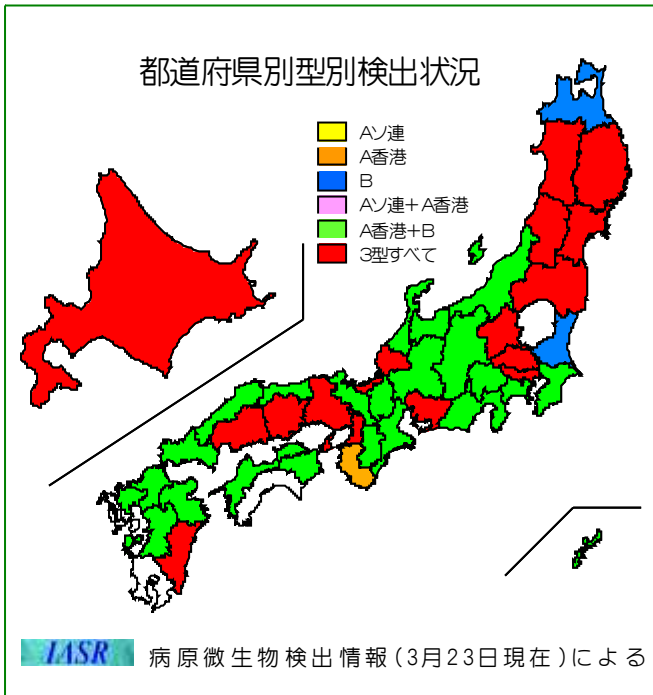
3月24日現在、定点医療機関から当センターにインフルエンザ、上気道炎、下気道炎等で搬入された検体から、Aソ連型5件、A香港型163件、B型371件が、遺伝子検査法により検出されています(表1)。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)によると、3月23日までに、16都道府県でAソ連型、41都道府県でA香港型、42都道府県でB型のウイルスが検出されています。今回新たに、Aソ連型が秋田県・山形県・兵庫県、A香港型が鳥取県、B型が群馬県・大分県から報告されました。

3 全国の流行状況

第11週(3/14~3/20)現在、定点当りの患者報告数が50人を超えているのは秋田県(71.8)、沖縄県(69.6)、福井県(62.9)、長野県(51.3)です。全国的に患者報告数は先週と比べ減少していますが、沖縄など地域によっては、まだ患者報告数が増加しているところもあります。

東京および近県の定点当り患者報告数はさらに減少し、東京都(12.4)は先週と同様に全国で最も少なくなっています。



◆インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
東京都感染症情報センター
(微生物部疫学情報室)
微生物部ウイルス研究科
多摩支所微生物研究科
企画管理部計画調整課

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL:03-3363-3213

FAX:03-5332-7365

idsc@tokyo-eiken.go.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/



古紙配合率70%再生紙を使用しています